

事務事業名		委員会調査研究事業		会計		一般会計		実施区分				
H28担当課等名		議会事務局		H28係等名		調査係		H27係等名		調査係		
基本計画上の位置づけ		政策 9 市民と共に進める行政経営		施策 94 効率的、効果的な行財政運営		開始		終了				
目的	対象(誰・何を)	常任委員会、議会運営委員会、特別委員会						指標名及び単位		27年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	先進事例の調査を行うことにより委員会審査を深めるとともに、政策提言につなげる。行政評価を行うことにより基本構想基本計画の進行管理						対象指標		7		
	向上させたい上位施策の成果指標	協働のまちづくりが進められていると感じている市民の割合										
目標	種別	指標名及び単位				27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	先進事例に基づいた調査研究項目数				16	15	20	-			
	成果指標	行政評価による施策・事務事業への提言項目数				60	56	60	-			
定性目標	・飯田市自治基本条例第22条に規定する「市議会の責務」を果たすため、市民の意思が反映されるようチェック機能を高め、政策立案、提言の充実を図るための活動の一つとして位置づける											
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 各委員会で所管事務調査として先進地視察や管内の事業の執行状況等の視察調査を行い、当該委員が先進事例や地域課題を把握し共有化することで委員会審査を深めるとも、議会としての政策提言につなげる。 行政評価手法を用いて基本構想基本計画の進行管理及び執行部側への提言を行う。 											
事業内容						名称			活動指標			
27年度事業内容	1 委員会等管外視察						1			1		
	(1) 総務委員会管外視察						(1) 視察事例数			(1) 4件		
	(2) 社会文教委員会管外視察						(2) 視察事例数			(2) 4件		
	(3) 産業建設委員会管外視察						(3) 視察事例数			(3) 4件		
	(4) 議会運営委員会管外視察						(4) 視察事例数			(4) 3件		
(5) 議会改革推進会議						(5) 視察事例数			(5) 日帰り1件			
2 各常任委員会管内視察						2 管内視察力所数			2 31カ所			
3 関係機関・団体との意見交換会等						3 意見交換会回数			3 5回			
4 行政評価手法による基本構想基本計画の進行管理						4 行政評価による提言数			4 56項目			
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		1,928	2,173	1,828	1,801							
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他												
一般財源		1,928	2,173	1,828	1,801							
人件費計(千円)②		7,152		7,867								
正規職員所要時間		2,000		2,200								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		9,080	2,173	9,695	1,801							
事業内容・目標達成状況の振り返り		所管事務調査として先進地や管内の事業執行状況等の視察調査を行い、当該委員が先進事例や地域課題を把握、共有化し、委員会審査を深めている。それらを行政評価をとおり、執行部側への提言につなげ、議会の政策立案の手法としてサイクル化して取り組んでいる。										
改革改善の考え方	①問題点	三常任委員会、単独所属にして一期目の最終年となり、調査研究のあり方についての検証を議員間で考える必要がある。行政評価の手法についても、次期総合計画策定にあわせ検討する必要がある。										
	②改革提案	会派代表者会、委員長会、議会運営委員会等で検証を進め、28年度中に確認を行なう。										